

2022年4月6日(水)第一水曜祈祷会

詩篇119:105~128

「栄光の主に信頼せよ」

### 【詩篇119篇の梗概】

- ・詩篇119篇は、ヘブル語のアルファベットを並べた「いろは歌」になっている。8節×22段落
- ・「主のみおしえ」に歩む人々は幸いである。神の憐れみによって、みことばに生きることができる。

### 【観察と黙想】

#### 1. 105~112節…悩みと迫害の中であって頼りとするもの

- ①著者は、「あなた(神)のみことば」はどのようなものかと言っていますか(105節)。  
→ともしび(世界の出来事を理解する視座)、光(進むべき方向を示す)
- ②著者は、苦しい状況の中で、神に何を祈っていますか(107節)。  
→みことばの通りに、私を生かしてください。
- ③著者は、何を喜びとし、何に心を傾けると言っていますか(111、112節)  
→神のさとし(みことば)を永遠に受け継いだこと。神の戒めに従うこと。

#### 2. 113~120節…悪(罪)から離れ、みことばに信頼して歩む

- ①「あなたは私の隠れ場、私の盾」とは、どういうことですか(114節)  
→神が最も安全な場所であり、保護者となってくださるという意味。
- ②「私から遠ざかれ」とはどういうことですか(115節)。  
→神に敵対する者との決別宣言。信仰は決断である。
- ③「私を支えてください」とは、どういうことですか(117節)  
→信仰生活は肉の力ではなく、御霊の力による

#### 3. 121~128節…神との人格的な関係により頼んで歩む

- ①「幸いの保証人となってください」とはどういうことですか(122節)  
→不当な訴えに対して弁護してくださる人
- ②「あなたの恵みによって」とはどういうことですか(124節)  
→契約に対する神ご自身の忠実さによって
- ③「私はあなたのしもべです」とはどういうことですか(125節)  
→神と自分との主従関係を告白している

### 【適用と分かち合い】

- ①苦難の中であって、みことばはどのようなものですか。
- ②私たちはどうしたらみことばのとおり生きられますか。
- ③私たちの救いはどこに保証がありますか。